

記入例

(申立先) 小田原市長 殿

監護相当・生計費の負担についての確認書

私は、以下に記載する者（注）について、監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をし、かつ、その生計費を負担し（以下「監護相当」といいます。）を下記のとおり申し立てます。 申立てが真正であることの証明を求められた場合は、関係する書類を提出します。

注 18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後から22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者のうち、施設等に入所等している者でない者（以下「児童」といいます。）

記

児童の兄弟等のうち、次の方はこの申し立ての対象になりません。

- ①児童福祉法に規定する延長者
- ②児童自立生活援助を受けている者（2か月以内の期間を定めて行われる援助を除く）
- ③母子生活支援施設、障害児入所施設、指定発達支援医療機関、障害者支援施設、のぞみの園、救護施設、更生施設、日常生活支援住居施設又は女性生活支援施設に入所又は入院している者（2か月以内の期間を定めて行われる入所を除き、22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者のみで構成する世帯に属する者に限る。）

1	ふりがな 氏名	おだわら みなと 小田原 湊		生年月日	平成 15 年 11 月 11 日 令和	住所	横浜市青葉区市ヶ尾町〇〇番地△	
	個人番号	続柄	職業等（いずれかに○）※	通学先（学生の場合のみ）	卒業予定時期（学生の場合のみ）	いずれかに○	申立人による生計費の負担の状況（該当するものすべてに○）	
	1 1 1 1 2 2 2 2 3 3 3 3	子	学生・無職・その他 ※通学先・卒業予定年月 記入必須	〇〇専門学校	令和 8 年 3 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）	1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）	
2	ふりがな 氏名	おだわら だいじろう 小田原 大二郎		生年月日	平成 14 年 10 月 10 日 令和	住所	小田原市飯田岡〇×△-〇	
	個人番号	続柄	職業等（いずれかに○）※	通学先（学生の場合のみ）	卒業予定時期（学生の場合のみ）	申立人による監護相当の状況（いずれかに○）	申立人による生計費の負担の状況（該当するものすべてに○）	
	4 4 4 4 5 5 5 5 6 6 6 6	子	学生・無職・その他 ※通学先・卒業予定年月 記入必須	学生ではなく、働いていない場合など	令和 年 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）	1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（扶養にはかかっている国民年金保険料を負担）	
3	ふりがな 氏名	いづみ さとみ 泉 里美		生年月日	平成 17 年 8 月 7 日 令和	住所	小田原市中曽根××△	
	個人番号	続柄	職業等（いずれかに○）※	通学先（学生の場合のみ）	卒業予定時期（学生の場合のみ）	申立人による監護相当の状況（いずれかに○）	申立人による生計費の負担の状況（該当するものすべてに○）	
	7 7 7 7 8 8 8 8 9 9 9 9	子	学生・無職・その他 ※通学先・卒業予定年月 記入必須	学生ではなく、働いている場合など	和 年 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）	1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（国民年金保険料を負担）	

※ 学生がアルバイト等をしている場合は学生に○をつける。

記載内容について上記のとおり相違ありません。

令和 6 年 12 月 12 日

【申立人】（児童手当の請求者・受給者）

住所 **小田原市荻窪300**

ふりがな **おだわら たろう**

氏名 **小田原 太郎**

生年月日 **昭和 60 年 1 月 2 日**

【重要】

受給者（請求者）ご本人からの申立が必要です。

※受給者（請求者）の配偶者のお名前でご記入しないようお願いをさせていただきます。

認定番号

□認定日 /
□改定年月 令和 年 月

メモ
確認書 提出日 RO. O. O
児童氏名・生年月日
学生以外/学生：卒業予定年月〇年〇月